



2019年1月

第283号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 久保田 貞視  
副会長 花輪 宗命・並木信一  
書記 多河敏子・長谷川あや子  
会計 小口 多津子  
ネット会長 久保田佐和子  
担当主事 中里 敦  
プリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 重子・多河 敏子  
直前会長 小口 多津子

国際会長 Moon Sang Bong(韓国) 主題 “Yes, we can change”  
スローガン “Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」  
アジア地域会長 田中博之(東日本区) 主題 Action 「アクション」  
スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」  
東日本区理事 宮内友弥(東京武蔵野多摩) 主題: 「為せば、成る」  
副題「ワイズが何をしてくれるかだけでなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」  
あずさ部部长 廣瀬 健(甲府21) 主題「未来はそれを備える人のものである」  
クラブ会長 主題「動こう、動かそう！」副題「変わろう、変えよう！」

### 1月例会プログラム

日時: 2019年1月26日(土)18:00~20:00

(担当:A班 小口、長谷川、中塚、中里、古市)

会場:八王子北野事務所2F

受付:長谷川・中里

司会:小口

開会点鐘 久保田会長

ワイズソング 一同

ワイズの信条 一同

ゲスト・ビジターの紹介 久保田会長

聖句・食前の感謝 長谷川

会食

報告・連絡事項 会長・担当者

総会:「八王子クラブのこれからを考える」進行役:久保田

・EMC 子クラブのメンバー探しは? 並木メン

・「ひつじぐも」との連携

・近隣クラブとの交流も一つのワイズライフに 他

東京YMCA 報告 担当主事 中里

スマイル報告

Happy Birthday 久保田会長

閉会点鐘 久保田会長

### 巻頭言

#### 「みんなちがって みんないい」

(クリスマス例会奨励要約)

並木 信一

「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、ご自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律つづめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは双方をご自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。」

新約聖書 エフェソの信徒への手紙 2:14~22

私は現在、八王子市内の社会福祉法人が運営する、「ベテル」と名付けられた保育園の理事を仰せつかっていますが、ドイツに「福祉の町」として世界中に知られる「ベテル」という同じ名前の町があります。私の大学時代の親しい友人は、40年

先月の例会ポイント (12月)		BFポイント	
在籍	17名	切手(国内・海外)	2g
メン	11名	累計	330g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	64.7%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	13,050円
ゲスト	5名	累計	46,084円
ビジター	0名	オークション	0円
ひつじぐも	10名	累計	0円

### 聖句

「主の目にかなう正しいことを行いなさい。そうすれば、あなたは幸いを得、主があなたの先祖に誓われた良い土地に入って、それを取り、主が約束されたとおりに、あなたの前から敵をことごとく追い払うことができる。」

(申命記6章18~19節)

以上も前にこの町を訪問しており、彼が実際に見聞きしたことを聞いたことがあります。でも、残念ながら、私は未だ訪ねたことがありません。

この町は、150年ほど前、「てんかんの患者」のための専用施設としてスタートし、その後、障害のある人が、仕事をしつつ、生涯住み続けることのできる町「ベテル」となりました。施しを受けるのではなく、障害を持つ人も持たない人も、一人の市民として共に働き、支え合い、住むことのできる町ということです。しかし、「福祉の町ベテル」も今日にいたるまでには、幾多の困難があり、たとえば、ナチスの「障害者安楽死計画」の時代には、障害者を差し出すように迫るナチスに対して、責任者である牧師が身を挺してこれに抵抗し、町を守ったということもあったということです。

この「ベテル」とは聖書にでてくる言葉で、「神の家」という意味があり、ドイツでは、障害をもった子どもをみると、「ベテルの子」といっていつくしむと言うことです。すなわち、障害児は、「神様の家の子ども」というのです。「ベテル」の町の存在が、障害者に対する認識を変え、障害者と言う前に、神様の前では全ての人一人の人格体として平等であるという捉え方を広げました。

黒人の公民権獲得、人種差別撤廃運動に生涯を捧げたマルチン・ルーサー・キング牧師は、「私には夢があります。いつの日にか、わたしの子ども達が、皮膚の色においてではなく、人間としての人格の深みにおいて評価される日がくるという夢が」と語り、續けて、「このためには血が流されなければなりません。そして、この血は、白人の血ではなく、私たち、黒人の血でなければなりません」と後世に残る有名な演説をおこないました。

そして、キング牧師は、この言葉通り、自らの血を流すことになりました。

イエス・キリストはるか前においでになり、すべての人が共に生きることができるようになるために、自らを犠牲として、十字架上で血を流して人間の罪を購い神様と和解させ、「共に生きよ」と呼びかけられました。

みんなちがって、みんないい！ みんなが同じであることを求めず、みんなが違うことにおいて神様から祝福されていることを信じ、一人一人がかかけがえない存在として互いを大切にしよう、そのような日々を生きよ、とも呼びかけられています。

「クリスマス！」このイエス・キリストこの世に誕生させ、贈られたことを喜び、感謝する時であります。



## 新年度を迎えて

久保田貞視

2018年が終わり2019年を迎えました。今年4月には天皇がご退位され、皇太子が天皇となるため、平成が4月末で終わり新しい元号になります。平成の30年を振り返ると国内の「平和」は維持されたものの経済成長は停滞し、自然災害の多い時代でした。少子高齢化が進んだ日本の将来はどうなるのか。米国、中国に大幅に遅れたIT・AI技術は追いつくのか。一人当たりGNPはかつてのような世界2位の地位を取り戻せるのか。

ワイズでは今期は未だ前半が終わったばかりです。クラブの今期会長主題の「動こう！動かそう！」を顧みると、毎月の例会は時宜を得た卓話を選び、中大ナイトはひつじぐも3役者（IYC, 学Yの夏季ゼミにSTEPの報告）により充実したものとなり、クリスマス例会もひつじぐも学生10名の参加により盛り上がりました。それなりに動いてはいますが、何かを積極的に動かしているでしょうか？私達およびクラブは変わったでしょうか？会長の指導力不足もありますが何も変わっていないような感じです。また、創立早々から活躍していた中塚ワイズが1月から体調不調で休会となり、大久保ワイズはメンを夫人にバトンタッチしましたが本人は残念ながら鬼籍に入られました。後期は期初目標の会員増強を真剣に検討しなくてはなりません。当面のクラブとしての行事、2月9日のあずさ部わくわく評議会、2月のメネット例会、3月16日の第21回チャリティコンサートを成功させましょう。皆様のご協力をお願いいたします。

## 故大久保清さんを偲んで

松本大樹

大久保さんのご逝去を知り驚きとともに深い悲しみで一杯です。

大久保さんとは例会後の打ち上げの席や、休日に橋本さん、中塚さんとともにご自宅へお邪魔し大久保さん手作りの居酒屋風スペースで一緒に楽しくお酒を飲んだことが昨日の事のように思い出されます。

そんなお付き合いの中で大久保さんは決して口数が多いほうではありませんでしたが、時に掛けて頂いたお気遣いや温かいお言葉は今も心の中に残っています。

また奥様とも良き夫婦でありながら、時に母と息子のような関係性も大変微笑ましく感じておりました。どうぞ奥様には1日も早く立ち直っていただき、ご主人様の方まで健康で楽しく過ごされますようお願い申し上げます。

これまで一家の大黒柱として、また八王子クラブを長年中心メンバーとして支えてこられ数えきれないご苦労もあったと思います。大変お疲れ様でした。

そして有難うございました。大久保さんの長年の功績に敬意を表しお別れの言葉とさせていただきます。ご冥福を心からお祈りしています。

## 中大ひつじぐも便り

新ワイズ係 川村拓

この度八王子ワイズメンズクラブの係を引き継がせていただきました中央大学国際ボランティアサークルの川村拓です。新潟県の村上市出身で法学部法律学科の1年生です。ひつじぐもでは、副会長をさせていただいております。

私は先日の八王子ワイズメンズクラブのクリスマス会ではじめて八王子ワイズメンズクラブの活動に参加させていただきました。クリスマス会ではワイズメンズクラブの方々とお話させていただいて普段の生活では聞けないような貴重なお話を聞かせていただきました。私は大学生になってから、同年代の人とかかわることが多かったのがクリスマス会で伺ったお話はとても新鮮でした。こうした経験をぜひサークル内の他のメンバーにも経験してもらいたいと思いました。また、ひつじぐもの先輩たちが八王子ワイズメンズクラブの方々とお話するのを見て、ひつじぐもと八王子ワイズメンズクラブの関係の深さを感じました。

ひつじぐもと八王子ワイズメンズクラブの懸け橋となり、先輩たちの作り上げてきた八王子ワイズメンズクラブとひつじぐもとの関係をさらに発展させていきたいです。そのためにも多くのサークルのメンバーが八王子ワイズメンズクラブの活動に参加できるように努力していきたいです。まだまだ経験不足であり、至らぬ点も多くあると存じますが何卒よろしく願います。

### (お話)

最初「主の目に悪とされること」という聖句を思いついたので、正月早々気分を逆なでするような言葉は如何なものかと思って変えました。「主の目」を意識しない人々があまりにも多い時代です。このまま続けば人類はそう遠くない将来破滅することになるのではないのでしょうか。

「主の目」をないがしろにしているニュースが氾濫している現代、それを阻止する機能が殆ど失われている状態です。賢明な判断機能の欠落です。認知症が世界の国家・政府を蝕んでいるのが現代のような気がします。今年は「主の目にかなう正しいこと」を真摯に学び、実行していきたいものです。

### (御礼)

仲田達男様に於かれましては、長きに渡り当欄の掲載にご尽力を賜りましてありがとうございます。聖句とお話をセットにしてご投稿いただきましたのは、多くの単位クラブブリテンの中でも、八王子だけの貴重な財産でありました。引き続き「聖句」の選定を並木信一様にお願いいたします。

## YMCA 西東京センター便り

西東京センターセンター長 中里 敦

新しい年を迎えこの一年も神様の御心にかなった活動が行え、多くの方々の居場所となるセンターでありたいと願います。年末もクリスマス会、デイ(日帰り)キャンプ、スキーキャンプと様々なプログラムが行われました。スキーキャンプは雪不足が心配されましたが、十分とはいえないまでも行うことができ、一つ一つが守られていることに感謝いたします。このブリテンが出る頃は、全てのキャンプが無事に終え、ホッと一安心していることだと思います。キャンプが終わると、今回のキャンプはどうだったのだろうか？子どもたちの成長に寄与することができたのだろうか？それぞれの家に帰ってからどの様な話しているのだろうか？など色々なことを思います。そのような時、YMCA を支えてくださるワイズ、会員の方々の多くに、キャンプ経験が生き続けていることを思います。少年期、青年期に体験したYMCAでのキャンプを通し、YMCAの良さを体で感じ、自身が育てられたことに対して、YMCA を支えてくれています。また、仕事など社会の中でYMCAでの経験を生かして見ます。先のような思いを持った時、キャンプの持つ素晴らしさをワイズ、会員の中に見出すことで、答えをどこに見出すかも見えてきます。もちろんその時、その時で子どもたちの成長も垣間見ることができそうですが、キャンプで蒔いた種が少しずつ育ち、将来YMCAを支えてくれる存在になると信じたいと思います。また、その様なキャンプやプログラムをし続けられるようにしていきたいと感じます。

### <西東京センター 主な行事予定>

#### 【1月】

8日(火) 14:00~15:00「のどトシ教室」@西東京コミュニティーセンター

のどは一生必要な機能の一つです。意識してトレーニングしないと衰えを防ぐことはできません。誤嚥予防、ハリのある声や スムーズな滑舌を身につけましょう。

定員：各回 30名 参加費：700円/1回

19日(土) 10:00~12:00「第13回子育て講演会」@しのめYMCAこども園

参加費無料・要事前予約

今年は、河村都氏(NHKお母さんといっしょの「うごけぼくのえ」コーナーのお姉さんとして出演)、子育てに関する本の執筆、多数の講演会など行う。今回は、講演だけでなく参加者の悩みを聞き、答える時間も多く取っています。ぜひお知り合いにも声をかけてください。

# 報 告

会友の大久保清さんが、12月12日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

## ☆ クリスマス例会

12月7日(金) 午後17時～21時

会費：メン・2500円

メネット・ビジター・ゲスト＝3500円 学生・1500円

第一部の司会は山本 第二部 懇親会の司会は茂木

奨励は並木 プログラム作成

ゲストビジター高尾山登りのお仲間・岡垣様もご参加

東京西クラブより、神谷幸男様、神谷雅子様も参加されて、

元会員の友人が来ないので残念と話していました。

お嬢様の永町様と一緒に酢屋様も参加して頂きました。

多目的ホールでの懇親会は18:30～21時

茂木さんの「八王子検定クイズ」や中里さんの恒例の楽しいクイズで盛り上がりました。

出席者

小口・中里・長谷川・久保田・久保田メネ・並木・並木メネ・花輪・望月・多河・茂木・山本

ゲスト・・・岡垣・酢屋・永町 (3名)

ビジター・・・神谷・神谷メネ (2名)

ひつじぐも・・・原辺佑基・川村 拓・恩田春香・須郷利貴・和崎竜也・宮内蒼也・永吉真穂・池田情苑・斎藤春樹・吉田翔吾 (10名) 計27名



## 絹の道デイサービスセンター ボランティア活動

【報告】12月14日 ペーパーフラワー14:00～15:00

参加者：赤羽・石井・色川・下重・多河・山口・山中茂木

【予定】1月23日(水) 手工芸 14:00～15:00

## \*BF2018年8月報告 切手・プルタブ報告

切手：国内	35g		
海外	0g	累計	158g
プルタブ	0kg	累計	5.5kg

**1月の誕生者**  
**並木 信一さん 1月20日**

## 高尾わくわくヴィレッジ便り 1月号

所長 古市 健

本稿を執筆しております本日は12月30日。間もなく2018年が終わりを迎えようとしております。比較的温暖だった気候も一転して厳しくなっており、夜遅くから朝にかけてマイナスの気温になる日が続いております。今年も様々なことがありましたが、一年を通じて大きなトラブルもなく、無事に一年が行過ぎていくことに、関係する全ての方々に感謝を申し上げたい思いを強くしております。

12月は当館にとって閑散期の入り口にあたる月となります。宿泊や日帰りの予約のお客様をはじめ、近隣の方々を中心とした予約外の一時来館のお客様も、12月からは少なくなってまいります。それでも宿泊のお客様は例年通り2,000名を超え、土日祝日には宿泊のお客様を中心に、他の季節と同様に館は賑わいを見せます。今の時期は大会などを控えたスポーツ系の合宿としてのご利用や、大学のゼミや研究室の勉学の場としてのご利用など、多くの青少年の方々に加え、冬休み時期にはこれも多くのご家族にもご利用いただいております。目的を持った青少年の活動の場として、あるいはご家族の団欒の場として、当館が一年を通じて機能できておりますのも、ご利用いただくお客様あってのことと、一年の締めくりに改めて感謝の念を強く抱いております。

間もなく年が明け、新たな年を迎えることとなります。来年は平成という時代が終わる象徴的な年になることと思います。10月には消費税増税も予定されており、その準備も着々と進んでおります。様々な変化に曝される年となりましようが、何事もお客様第一と捉え、安心安全に館の運営をしまいる所存です。新年もどうぞよろしくお願いたします。



ブリテン編集委員  
山本英次・茂木稔・大久保重子・多河敏子  
<http://ys-east.jimdo.com/bulletin/tokyohachioji/>